

住生流

80年あゆみ



佳生流
八十年のあゆみ



矢田立郎

神戸市長



お家元である西村雲華先生をはじめ關家元の西村公延先生並びに佳生流の皆様方におかれましては、八十年という長い歴史の中で、日本の伝統文化であるいけばなの普及・発展に尽力され、伝統を受け継がれるとともに、現代の生活様式に合った佳生流独自の型を次々と生み出され、どの季節にも四季折々の花とともにある日本人の生活、日本人の心を今に伝えてこられました。いけばなを通じて神戸の地域文化の振興に多大なるご貢献をいたしておりますことに心から感謝を申し上げますとともに、花を心から愛する佳生流の皆様方の、たゆまぬご努力と熱意に、深く敬意を表する次第でございます。

昨年十月には、副家元である西村公延先生が花の親善大使としてイタリアのテルニ市を訪問、現地の花を用いていけばな展を開催され、多くの方がお見えたましたとおうかがいしております。自然を慈しみ、花を愛する心は万国共通であることを再認識するとともに、日本古来の素晴らしい文化であるいけばなが、海外の方々にも深い感銘を与えたことを大変嬉しく思っております。

また今年三月には、さんちかホールで八十周年記念いけばな展を開催されました。「都会のオアシス」ともいえる潤いと安らぎに満ちた空間で、多くの方々が心安らぐひとときを過ごされたことでしょう。

文化の果たす役割は、人々に安らぎや潤いをもたらすことに留まらず、人々の交流やまちの脈わい、文化化につながるなど「これからの中のまちづくり」にとって、ますます重要なものとなつてきております。神戸市では、平成十六年十二月に「文化創生都市宣言」を行い、市民の心と暮らしにうるおいと活力をもたらす文化創生都市を実現するため、さまざまな取り組みを進めています。

佳生流の皆様方におかれましては、今後とも、芸術文化の交流を通して、多くの人が集い楽しむ魅力あるまちを実現していくため、引き続きご協力・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



兵庫県知事

井戸敏三

いけばなを自由に楽しむ佳生流が創始八十年を迎えた。心からお祝いします。

昭和二年、初代の西村翠雲家元が前身である昌鳳院流を創始されて以来、自然と人間の心がひとつになって生活に溶け込む、「いけばな」を創ってこられました。

佳生流の皆様は、二代目・西村雲華家元の指導のもと、流派内での行事はもとより、兵庫いけばな協会や日本いけばな芸術協会の展覧会、文化使節として海外での日本文化の紹介など、積極的な活動を展開され、いけばな文化の普及・発展に尽力されています。

今春、佳生流が生まれた西脇の地で「創始八十周年記念花展」が華やかに開催されました。花の心がすなおに伝わってくる作品の数々とともに、それを楽しむ人々の集まりが非常に印象的でした。伝統を生かしながら、流派を超えた新潮格化を確立し、自然との結びつきや美しさを楽しむ心を大切にされてきたからこそです。美しい日本の文化と心を受け継ぎ、「真・善・美」を追究する真摯な取り組みに、心から感謝します。

心の豊かさや生活の質の充実が求められる今、私たちにやすらぎと元気を与えてくれる芸術文化の役割がますます大切になっています。兵庫には、豊かな風土や歴史の中で、人々が育んできた多彩な芸術文化があります。それらの「兵庫らしさ」を伸ばし、一人ひとりがいきいきと暮らし、交流する「元気な兵庫」の実現をめざすときです。

それだけに、いけばなを通して、人と自然、人と人の心豊かなつながりを育まれている佳生流の皆様には、「元気な兵庫」「美しい兵庫」づくりの推進役として大いに期待しています。

佳生流のますますのご発展と、西村雲華家元をはじめ佳生流の皆様のご健勝での今後一層のご活躍を心からお祈りします。

西村 公延

開室元



創流八十年に想う

早いものです。私もこの世界に入つて四十年になろうとしています。
いままでいけばな界に何を貢献してきたかと思うとき、恥ずかしい限りであります。
近年いけばな界を取り巻く環境は、決してよくはありません。
のんびりと山を散策したくとも自由に歩ける山は少なくなり、人工化された公園では植物の生息状況を観察することもできません。履物優先の玄関、床はクローゼットに取って代わって「いけばな」を飾る環境も厳しくなっていますし、変化しています。

そのような場所に合つた「いけばな」を工夫するのではなく、フューチャレンジメントで誤魔化しているところは無いでしょうか。

そのためか最近のいけばな展を見ていると「近代アート展かと思うような作品が多くなり、一億総市民が親しんだ」「いけばな」、家族に密着した「いけばな」と言うイメージさえ薄れてしまっています。

日本の伝統文化芸術に対して、三、四年前から文化庁が主になって、子供たちに日本の伝統文化芸術に親しんでもらおうと呼びかけ、たくさんの子供たちが伝統文化芸術と触れ合っていることはすばらしいことであります。

いけばな界が老齢化しています。昨今、若手の育成が急務なのはどここの文化業界も抱えておられる悩みだと思います。

今年は神戸ビエンナーレ、が神戸メリケンパークを主会場に開かれます。

その主な展示に全国の若手作家を招待して「いけばな未来展」が会期前半に催され、にぎわうことを期待しています。

これを機会に佳生流も若手を中心とした活動ができるように応援をしていきたいと思っています。

幸い今回の神戸ビエンナーレにおいて、佳生流家元補佐の西村崇先生が実行委員の人として活躍していますので、崇先生を中心に活動できるように環境を整えていくことを、八十周年を機に実行していきたいと思っています。

今回八十年を迎えることができたのは応援してくださる皆さんのおかげだと感謝する 것입니다。

今後とも九十年、百年に向かつて精進いたしますので、今まで以上のご支援ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

西村 雲華
家元



◎伝統は あらためてこそ守られる◎

新潮花・置花・雅風花・雅風生花、と佳生流の流花を制定いたしました。これが素晴らしい内容の花だと認知されるには長い歳月を要することと思いますが皆様のご理解あるご支援のもとに、この流花が現代の日常生活の上に、又芸術としての足掛かりになればと願い、百周年を夢見ながらこあいさうといたします。

界が開けできます。そんな事を思いながらこれから課題の一つとして取り組んでいるところです。

佳生流創始八十周年を迎え、イタリアのテルニ市との文化交流、神戸さんちか花展、佳生流発祥の地西脇市での初代家元西村翠雲師を偲ぶいけばな展など、皆様の協力により有意義な記念行事を終えることができました。阪神淡路大震災により私は大きなダメージを受けました。それ以来人間の趣向が急速に変わってきました。いや、全國的な風潮かも知れません。伝統あるいけばなにおいても単なる伝承いけばなの指導では満足できない時代です。自然を生ける、その自然には無限の美的要素をもつて私達に安らぎを与えてくれています。その無限にある美的要素を如何に発見し、抽出しこれを如何に表現するかは既成のいけばなの概念を捨て、自然を逸つた角度から見直さねばなりません。更に既成の伝統花に欠かせない法則を無視すればこれ又大きな世界が開けできます。そんな事を思いながらこれまでからの課題の一つとして取り組んでいるところです。



佳生流80周年記念花展

とき／平成19年3月22日～27日
ところ／さんちかホール

西村
崇
家元補佐



今年は、佳生流創流八十周年の記念の年です。八十年という節目を迎える先達の功績と歳月の重さを感じております。

今、いけばな界を取り巻く状況は厳しくなつておられます。現代は、直接生活に役立つ実用的な趣味が主流ですが、いけばなは伝統的な日本の文化の嗜みとして、より一層親しんでもらいたいと思います。いけばなは実用的ではないかもしれません、日々の暮らしに潤いと癒しをもたらすものと信じております。古きを知り今にどう活かすかということがこれから課題です。その発信に微力ながら努力してまいります。

若輩ですが、佳生流共々よろしくお願い申し上げます。



副家元 西村公延
ミズバショウ、カラジューム



家元 西村雲華
ヤマイクラ、ドラセナサンデリアーナ、パラ、コウモリソウ



上月翠芳
古木、晒ツゲ、着色ツゲ、シャクナゲ、パンダラン



家元補佐 西村 崇
古木、クロマツ、モクレン、ボケ





流花=雅風生花・一新会
扇紀代華・松場美梨・廣田美浮華・並倉朝翠・前田怜華・土田雅風・小笠原裕美華・野村知華・堀俊華・本庄廣華



荒田圭芳
カバ、コチョウラン、グリーン



岸本良風
アンスリューム、フジブル、ドワゼナ、着色トガ



八木宣華
ボケ、サラシハシブレ、パンダラン、
枯チンドウウゲ、古木



釜鳴登華
アロエ、サラシイチジク、オンシジューム、カルミア



小澤佳永
コデマリ、カーネ、アマリリス



高井翠花
レンギョウ、コチョウラン、古木、シャクナゲ



尾立洋光
モモ、ストック、ユキヤナギ、イブキスギ



樋 美華
枯バショウ、エレンジューム、レウカデンドロン



池添翠節
アカマツ、サラシイチジク、ホンザクラ





木挽早翠
クロモクレン、コチョウラン



土田稚風
ナンテン、アンスリューム、レンゲツツジ



松場美翠
ツゲ、キンギョノウ、グロリオサ、フジヅル



除山敏華
トクサ、シュロ、オリエンタルリリー、スタークス、貝



本庄廣華
オバケアンスリューム、グロリオサ、パンクシャ



篠倉紅花・近藤慶華・森岡東史華・藤本梅風・長谷川紫鈴・堀俊華・橋本扶左華・高見喜華
幹千賀華・名越和花・伊藤真知華・松田千草華・竹村美智華・西口瞳華・藤本順華・藤原文華
ホンザクラ・シダレザクラ・オオイタヤメイゲツ



内海漢翠
レンギョウ、ヘリコニア、ガーベラ、トルコキキョウ、プロテア



前田怜華
ボケ、オオイタヤメイゲツ、キク





名越和花

カラー、ソテツ、ボケ、ユーカリ、アルストロメリア、レウカデンドロン



藤本梅風

オウゴンヒバ、セッカヤナギ、ストレリチア、オリエンタルリリー、スイトピー



松田千草華

粘木、アンスリューム、コルディエリネ



伊藤真知華

コンシンネ、シンビジューム、フリージア、レザーファン



堀 俊華

オバケアンスリューム、ザガングリューム
アナス、ユーカリ



長谷川紫錦

トケサ、ボケ、パンダラン、コチョウラン、テンモントウ



谷口通華・江頭敏華・野口英華・中村達華
レンギョウ、カーネーション、ツバキ、アンスリューム、着色シゲレグワ、キッコウチク



藤本芳華・乃一恵華
着色シゲレグワ、ユーカリ、アンスリューム、
宿根スイートピー、スプレー・ギク、タニワタリ



幹 千賀華
カラモモ、レンゲツツジ、
アンスリューム



橋本扶左華
オクラレウカ、コチョウラン、サクシイチジク



高見喜華
オリエンタルリリー、着色クロマツ、ツバキ



川上美貴華
エダスイートピー、ペイケイソウ、フル



神吉かをり華
シラカバ、ペニュキヤナギ、イチゴ



三野朱美華
アンスリューム、オオタニワタリ、パンダラン



山崎壽華
ヤツデ、バラ、カスミソウ、辰ヶケ



東京支部
服部泰華・桃井尚華・伊藤慶華
川田ふき華・中島公華・西村幸風
広瀬真華・藤田喜久華・山根富美華
福原美幸・高津順子・田中登喜子・向内緑
フジ、レンギョウ、マツ、晒キウイ、オリエンタルリリー



藤井婦起華・村上綠華・徳岡芳華
ユキヤナギ、アンスリューム、クロリオサ、
レウカデンドロン、レモンリーフ



石田静華
グリニア、アンスリューム、ガーベラ、デンファレ



北野千恵華
カラモモ、オオイタヤメイゲツ、キク、サンシユウ



赤井房華
ユキヤナギ、バラ、パンダラン



長谷川徳華
バラ、ミリオグラグラス、着色マツ



木原美津子
カイウ、キンギョソウ、ドラセナ



小笠原裕美華
ブトイ、トウヅル玉、グリニア、キク



金川松華
キノコ、ギンヨウアカシア、フバキ、チッポウユリ、ヒベリカム



片山厚華
オリエンタルリリー、カキツバタ、枯りゅウカデンドロン、マツカサ



染井美寿華
キブシ、オリエンタルリリー、ドラセナサンディアーナ、アルストロメリア



国田美津華
ボケ、グロリオサ、ユキヤナギ、オオイタヤメイゲツ



野村知華
アカメヤナギ、コチヨウラン、コウモリラン、オニシガラム



伊藤福華
ボケ、ストレリチア、レウカチンドロロン



廣田美浮華
オクラレウカ、カラー、スターチス



宇佐美悦華
アレカヤシ、グロリオサ、ガーベラ、古木



中井里美
フル、アンスリューム、モンステラ、アジサイ



高田明華
トサミズキ、ストック、オクラレウカ



Travel Essay

佳生流副家元 西村公延

このたび、昨年平成十八年二月十四日に神戸市とテルニ市が協定を結んだのをきっかけに、第二回文化交流で日本文化の紹介を行なうために、十月四日から十二日までイタリア国ウンブリア州テルニ県テルニ市に出かけてきました。

当初「つ返事で行く」と決めましたが、「地球を歩こう」という本にも載つていなし、どんなところか想像もつきませんでしたので大変不安でしたが、一人でも出かける気でいましたので総勢九名が行きました。



イタリア国テルニ市で 佳生流いけばな展

ト ラベルエッセイ



堀 栄里華
カラモモ、ユーカリ、デンファレ



馬場万里花
クロメヤナギ、アサヒハラン、レウカデンドロン、カラー、
アンスリューム、サンダーソニア、モンステラ、カスミソウ



春 桃花
ワジ、コチョウラン、サラシバンブー



玉越英華
アルストロメリア、コザマリ、レウカデンドロン



もなく、花市場に出かけました。
花市場では、私たちのためにあらゆる花を用意してくれていました。その数もおびただしい数でしたが、鄭重にお断りして、いろいろ二、三本ずつお願ひして、市場を後にして、もう一度会場に戻りましたところ、あれから六、七時間はたつて



いるのに、かわいそうにまだ枝物はほつたらかし、そして言い訳がましく、特設会場で水がなかつた、イタリアでは枝物は枯れても活けますと、このときはさすがに切れました。

もうこの人たちと一緒に展覧会をすることはできないと引き上げましたが、そ

の文化の違いを紹介しに来たのだと思い直して、善後策を考えることにしました。これから許可をもらって花材をとりにいくのは時間が遅すぎ、暗くなつてしまふので、無理と判断しましたが、幸い今日のホテルは山奥の修道院ホテル。先程荷を開いたところにはたくさんのお花材らしきものがあったことを見て知っていましたので、採取することをお願いしようと許可をいただき、翌朝採取することにして安堵の胸を下ろしました。

夜が明けるのが遅く、六時半ごろやつと薄明るくなり出かけました。取材する予定のなかつた私は作務衣に雪駄、滑つて山に登るには不向きでしたが、マント・ク・エニシダ・アスハラガス・バクチノキ・ソケイの類・ミモザ、もちろんオリーブの木はたくさんあり、何とか活けることのできる材料は採取できました。やれやれ。

このホテルは、八世紀に建てられた修道院を、最近ホテルに改装したらしく、典格花だけは持参しようと決め、用意いたしましたが、スギ、ヒノキの類は持ち込み禁止、したがつてハラン、セツカヤナギ、チヨウゼンマキ、オモト、ヒメマサキ等々を持参していくことにしました。

日本のこと、アメリカでは持参した花材を取り上げられたことなど、いろいろ頭をかすめましたが、なるようになる、なるようしかならないと聞き直つて出かけることにしました。このときにも同行してくれる生徒たちの明るさにどれだけ助けられたことでしょうか。

このたびも日本文化の紹介ですので古器、剣山、花鉢、乾燥花材は前もって送つておきましたが、私の得意の竹のオブジエがイタリアの税関で引っ掛かり、荷物の到着が遅れるというハプニングにも当心配でしたが、ぎりぎり活け込み当日十三日ころに会場に着き、間に合いました。

器は四点ほど割れていきましたが、活け込みにはさほど影響なくスムーズに行きました。

また、花材に関する文化の違いを感じました。

五日の朝、会場の下見に行きましたところ、頼んでおいた花材の中の枝物を用意してくれましたが、テントの特設会場の片隅に水にも浸げずに雑然と寝かされていましたので、向こうの花屋さんすぐに水に浸けておいてくださいとお願いして、ひとまずホテルへ。荷を開くま





ショヨンだけにしました。五千人は入場しなだらうかと思われると関係者談話。皆さんに喜んでいただき、会員一同大満足の文化交流会でした。

夜にはテルニ市主催の歓迎会に参加させていただき、美味しい料理に舌鼓を打ち、土産物の交換で楽しい時間を過ごしました。

展覧会の合間を見つけて観光もしました。四人組という可愛らしい陶器の人形製作所、「目が合い連れて帰ってください」と言っているようで「買いました」というような可愛らしい人形でした。武器を作ついた製作所、「世界」の滝といわれるマルモレの滝、何よりも收穫祭を記念してのサンジミニーノの時代祭は壮观でした。神戸にも来たことのある「旗振り」その会長の紹介で貴賓席に呼ばれ、何万人いる観衆の前で、日本の神戸からわざわざ来られた佳生流のいけばなの二行ですと紹介していただき、感激しました。

次の日にはローマへ観光に出かけましたが、テルニでの数日間の充実を省み、全員がテルニに戻りたいと言い出すほどテルニが良かったのです。

素朴で景色がきれいで、歴史を感じさせる町並み、観光地、本当に楽しかった今回のイタリア・テルニの旅でした。

テルニ市から、「聖バレンタイン教会で結婚式はあげられませんが、日本から来られた新婚さんはバレンタインデー発祥の地、バレンタイン教会から愛の認定



周りの景色、建物の重厚さ、同行者全員が大満足で、ここで写真が肝心の展覧会の写真よりもはるかに多いという結果に、びっくりするくらいでした。

もちろん礼拝堂には八世紀の壁画が残っており、まるで美術館に来ているようでした。採取した花材と一緒に、会場近くのテルニ市のバレンチノホテルに移動、花材を整理し、ひとやすみ、送った荷物の着くのを待つて活け込みを開始。

その後は問題もなく、夕方までに生け込みは完了しました。

次の朝、十時半文化交流のセレモニー。まずテルニ市観光局長の挨拶、続いて

日本大使館の参事官・矢野和彦氏の挨拶、引き続き私が挨拶と神戸市長の親書を読み上げ、テルニいけばな協会長の挨拶で盛り上がりました。

展覧会は最初のうちは生徒たちが呼んでおり、まるで美術館に来ているようすな押すの大盛況。どこからこれだけの人々が沸いてくるのかと思われるくらい集まり、入場制限の繰り返でした。聞くところによると二千枚用意したパンフレットが夕方にはなくなり、二日目はパンフレット無し、という状態だったそうです。結局初日は、夜十二時十分に仕方なく閉館したそうです。



朝十一時にデモンストレーション、十七時にいけばな教室、このときにはどうして参加させてくれないのかと詰め寄る人が続出、質問もたくさん出てなかなか終わりませんでした。次の日はいけばな教室をとりやめ、朝と夕のデモンストレー



書を交付いたしますので是非新婚さんはテルニお立ち寄りください」と伝えると、重要な役目をおおせつかつてまいりました。

80周年記念 いけばな展
佳生流初代家元 西村翠雲先生を偲ぶ



大作～副家元 西村公延作



井戸界知事ご夫妻がご来館 左から知事夫人、家元、知事、公延、紫、松内、小崎アナウンサー



佳生流初代家元 西村翠雲先生を偲ぶ

於、西脇市民会館 平成19年5月10日～12日

主催 二代目家元 西村翠華
協賛 西脇支部教授会 陶芸家 松内倫子
後援 西脇市西脇市教育委員会、西脇市文化運営、
神戸新聞社、西脇時報社



宇仁音信丸



小澤佳水



伊藤真知華



松場美翠



藤本梅風



上月翠芳



岸本良風



藤本朝草



關家元 西村公延



松田千草草



橋本扶左草



高見喜草



尾立洋光



藤原文華



笹倉朝翠



大作=家元補佐 西村 崇



名越和花



笹倉紅花



池添翠絵



土田雅風

佳生流のあゆみ

初代家元西村翠雲師は昭和年に大阪真盛流家元となられ、そのご意志をつき西脇の地で昌鳳院流を創流されました。活動記録は数枚の写真しかなく、年号記録等詳しく述べておられます。

二代西村雲華師は神戸一中と神戸県一とが合併して兵庫県立神戸高等学校となり、華道部講師をきっかけに華道の道に専心され、現在に至っております。

佳生流のあゆみ

佳生流のあゆみ

6	22	副家元平成13年度半どんの会文化賞受賞 兵庫県民
7	21	・華道吟「花手前贅助出演・兵庫県立ピッコロシアター ・夏期講習会 丹波篠山城跡めぐり 城郭研究家(朽木史郎)
8	9	・さんちか夢ひろば大作
9	15	・いけばな新進作家展 OAPタワー3階スカイプラザ
10	9	・日本いけばな芸術協会中国展 米子高島屋本館
11	19	・日本いけばな芸術協会褒賞杯授与 (上月翠芳) 東京ユートーカ
12	11	・第37回加古川市文化まつりいけばな展 加古川市民会館
13	13	・加西市文化祭いけばな展 加西市民会館
14	11	・第14回兵庫のまつりふれあいの祭典 兵庫県いけばな展
15	11	・中町文化祭いけばな展 中町ベルディホール
16	12	・黒田庄町文化祭 中央公民館
17	12	・市制50周年記念西脇文化祭いけばな展 西脇市総合
18	13	・加西市芸術祭2002いけばな展 明石市市民ホール
19	11	・市民センター
20	9	・小野市いけばな展 小野市民会館
21	11	・第14回兵庫のまつりふれあいの祭典 三木市いけばな展
22	11	・黒田庄町文化祭 神戸市立原田の森ギャラリー
23	13	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
24	12	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
25	11	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
26	10	・協会5周年記念展 三木市文化会館
27	9	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
28	8	・東京支部正月花研究会
29	7	・春の優選会 リーガロイヤルホテル
30	6	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
31	5	・新規会員登録会 插花 大阪リーガロイヤルホテル
32	4	・但馬いけばな協会15周年記念展 八鹿長寿の郷
33	3	・第11回兵庫のまつりふれあいの祭典 三木市文化会館
34	2	・明石市芸術祭2002いけばな展 西脇市総合
35	1	・兵庫県いけばな芸術文化振興会議創立10周年記念
36	1	・家元米寿記念展覧会 西村ダイニンガ
37	1	・加古川市文化祭まつりいけばな展 加古川市民会館
38	1	・兵庫県いけばな展 神戸地下街さんちか
39	1	・さんちか夢ひろば大作
40	1	・花供養 德光院
41	1	・時のウイーク2004年いけばな展 アスピア明石
42	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 舞子ビラ庭園
43	1	・加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
44	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
45	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
46	1	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
47	1	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
48	1	・協会5周年記念展 三木市文化会館
49	1	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
50	1	・東京支部正月花研究会
51	1	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
52	1	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
53	1	・県立神戸高等学校卒業式講堂大作 同校
54	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 市民会館
55	1	・さんちか夢ひろば大作
56	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 神戸生田神社会館
57	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 松山高島屋
58	1	・日本いけばな芸術協会四国展 加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
59	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
60	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
61	1	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
62	1	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
63	1	・協会5周年記念展 三木市文化会館
64	1	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
65	1	・東京支部正月花研究会
66	1	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
67	1	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
68	1	・県立神戸高等学校卒業式講堂大作 同校
69	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 神戸生田神社会館
70	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 松山高島屋
71	1	・日本いけばな芸術協会四国展 加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
72	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
73	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
74	1	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
75	1	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
76	1	・協会5周年記念展 三木市文化会館
77	1	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
78	1	・東京支部正月花研究会
79	1	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
80	1	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
81	1	・県立神戸高等学校卒業式講堂大作 同校
82	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 神戸生田神社会館
83	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 松山高島屋
84	1	・日本いけばな芸術協会四国展 加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
85	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
86	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
87	1	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
88	1	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
89	1	・協会5周年記念展 三木市文化会館
90	1	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
91	1	・東京支部正月花研究会
92	1	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
93	1	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
94	1	・県立神戸高等学校卒業式講堂大作 同校
95	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 神戸生田神社会館
96	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 松山高島屋
97	1	・日本いけばな芸術協会四国展 加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
98	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
99	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
100	1	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
101	1	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
102	1	・協会5周年記念展 三木市文化会館
103	1	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
104	1	・東京支部正月花研究会
105	1	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
106	1	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
107	1	・県立神戸高等学校卒業式講堂大作 同校
108	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 神戸生田神社会館
109	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 松山高島屋
110	1	・日本いけばな芸術協会四国展 加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
111	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
112	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
113	1	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
114	1	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
115	1	・協会5周年記念展 三木市文化会館
116	1	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
117	1	・東京支部正月花研究会
118	1	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
119	1	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
120	1	・県立神戸高等学校卒業式講堂大作 同校
121	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 神戸生田神社会館
122	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 松山高島屋
123	1	・日本いけばな芸術協会四国展 加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
124	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
125	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
126	1	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
127	1	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
128	1	・協会5周年記念展 三木市文化会館
129	1	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
130	1	・東京支部正月花研究会
131	1	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
132	1	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
133	1	・県立神戸高等学校卒業式講堂大作 同校
134	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 神戸生田神社会館
135	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 松山高島屋
136	1	・日本いけばな芸術協会四国展 加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
137	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
138	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
139	1	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
140	1	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
141	1	・協会5周年記念展 三木市文化会館
142	1	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
143	1	・東京支部正月花研究会
144	1	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
145	1	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
146	1	・県立神戸高等学校卒業式講堂大作 同校
147	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 神戸生田神社会館
148	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 松山高島屋
149	1	・日本いけばな芸術協会四国展 加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
150	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
151	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
152	1	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
153	1	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
154	1	・協会5周年記念展 三木市文化会館
155	1	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
156	1	・東京支部正月花研究会
157	1	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
158	1	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
159	1	・県立神戸高等学校卒業式講堂大作 同校
160	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 神戸生田神社会館
161	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 松山高島屋
162	1	・日本いけばな芸術協会四国展 加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
163	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
164	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
165	1	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
166	1	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
167	1	・協会5周年記念展 三木市文化会館
168	1	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
169	1	・東京支部正月花研究会
170	1	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
171	1	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
172	1	・県立神戸高等学校卒業式講堂大作 同校
173	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 神戸生田神社会館
174	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 松山高島屋
175	1	・日本いけばな芸術協会四国展 加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
176	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
177	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
178	1	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
179	1	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
180	1	・協会5周年記念展 三木市文化会館
181	1	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
182	1	・東京支部正月花研究会
183	1	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
184	1	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
185	1	・県立神戸高等学校卒業式講堂大作 同校
186	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 神戸生田神社会館
187	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 松山高島屋
188	1	・日本いけばな芸術協会四国展 加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
189	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
190	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
191	1	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
192	1	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
193	1	・協会5周年記念展 三木市文化会館
194	1	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
195	1	・東京支部正月花研究会
196	1	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
197	1	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
198	1	・県立神戸高等学校卒業式講堂大作 同校
199	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 神戸生田神社会館
200	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 松山高島屋
201	1	・日本いけばな芸術協会四国展 加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
202	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
203	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
204	1	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
205	1	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
206	1	・協会5周年記念展 三木市文化会館
207	1	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
208	1	・東京支部正月花研究会
209	1	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
210	1	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
211	1	・県立神戸高等学校卒業式講堂大作 同校
212	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 神戸生田神社会館
213	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 松山高島屋
214	1	・日本いけばな芸術協会四国展 加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
215	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
216	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
217	1	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
218	1	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
219	1	・協会5周年記念展 三木市文化会館
220	1	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
221	1	・東京支部正月花研究会
222	1	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
223	1	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
224	1	・県立神戸高等学校卒業式講堂大作 同校
225	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 神戸生田神社会館
226	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 松山高島屋
227	1	・日本いけばな芸術協会四国展 加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
228	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
229	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
230	1	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
231	1	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
232	1	・協会5周年記念展 三木市文化会館
233	1	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
234	1	・東京支部正月花研究会
235	1	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
236	1	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
237	1	・県立神戸高等学校卒業式講堂大作 同校
238	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 神戸生田神社会館
239	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 松山高島屋
240	1	・日本いけばな芸術協会四国展 加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
241	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
242	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
243	1	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
244	1	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
245	1	・協会5周年記念展 三木市文化会館
246	1	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
247	1	・東京支部正月花研究会
248	1	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
249	1	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
250	1	・県立神戸高等学校卒業式講堂大作 同校
251	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 神戸生田神社会館
252	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 松山高島屋
253	1	・日本いけばな芸術協会四国展 加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
254	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
255	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
256	1	・中国人留学生にいけばな指導 神戸経理専門学校
257	1	・平成15年度 特別許状伝達式 佳生会館
258	1	・協会5周年記念展 三木市文化会館
259	1	・選抜作家いけばな展 兵庫県公館
260	1	・東京支部正月花研究会
261	1	・新春のつどい 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
262	1	・こうべ芸文美術展 県立美術館原田の森ギャラリー
263	1	・県立神戸高等学校卒業式講堂大作 同校
264	1	・第40回加古川文化まつりいけばな展 神戸生田神社会館
265	1	・兵庫県立陶芸館選抜作品展 松山高島屋
266	1	・日本いけばな芸術協会四国展 加古川市花と緑のフェスタ野外展 日岡公園
267	1	・中町いけばな協会展 ベルディーホール
268	1	・兵庫県立美術館原田の森ギャラリー
269	1	・中国人留学生にいけば

佳生流のあゆみ

新潮花制定に当つては古典花にも強く、抜群の造形力、洗練された構成力を惜しみなく發揮され、人柄の良さとおしゃれな長身のとても都会的なセンスの持主でした。流内外に於ても人気が高く、県の若手作家集団「ぞく」花展では次々芸術作品を発表、指導者としても「KCC」講師を永年勤め、学校華道にも多々貢献されました。

又、気配りの方で昭和47年日本いけ花芸術協会展五人合作では「高井さんのデザインを構成しましょ」と弱輩の私の案を採用し制作出瓶。好評を得て感激しました。作品を背に名譽總裁高松宮妃殿下との2ショットの榮に二重の感激でした。

晩年の先生は神戸芸文百人色紙展等に毎年花の絵をこ出品、頂いた数々の絵手紙を眺めながら、改めてご指導に深謝し謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



故鄉與我

今は亡き

高井
翠花

天國の
昭瑞華先生へ

林
美華



(苏) 捷列茨

天國の
昭瑞華先生へ

林
美華

平成18年5月八十四才で長寿を全うされました。昭和26年いけばな活動に専念のお家元のよき協力者として活躍。大きへを重んじるは向香花と生けながら水山つ雲流北に

（左）「アーティストの力」、（右）「アーティストの力」、（上）「アーティストの力」、（下）「アーティストの力」

新潮花制定に当ては古典花にも強く、抜群の造形力、洗練された構成力を惜しまなく發揮され、人柄の良さとおしゃれな長身のとても都会的なセンスの持主でした。海内外に於ても人気があり、県の若手作家集団「ぞく」花展では次々芸術作品を発表、指導者としても「KCC」講師を永年勤め、学校華道にも多く貢献されました。

又、気配りの方で昭和47年日本いけ花芸術協会五人合作では「高井さんのデザインを構成しましょう」と弱輩の私の案を採用し制作出瓶。好評を得て感激しました。作品を背に名

晩年の先生は神戸芸文百人色紙展等に毎年花の絵をこ出品、頂いた数々の絵手紙眺めながら、改めてご指導に深謝し謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

2007

役職プロフィール



尾立 洋光

いけばなにかかわってから、花の種類も随分増え、色、形も変わりました。舌を噛むような名前、どれぐらいの花の名前を知っているのかと思います。



加藤 昂華

神戸高校一年生の時華道部に入部、以来家元雲華先生に師事。六十九才で脳梗塞となり楽しみであった華道の活動も打ち切り現在休会中ですが、九十八才の母と共に助け合って日々感謝してくれています。



岸本 良風

いけばなと関わって四十年余り、花に触れる時その花の心を垣間見る様で、レンナに落ちこんでいても、私に元気を戻してくれる。「花ありて私の人生」といえるかもしれない。お花を生涯の糧として続けていきたい!



小西 杏花

佳生流に入門させていただいたのは、今から五十年余り前、振りかえれば長くて短かつたなあとしみじみ思っています。お家元先生には特に花の心、花を愛する心を指導いただきました。



小澤 佳永

近頃、我が人生悔い許りと思える。でも華道で家元先生に出逢え、花の美を知り、「尊敬できる師に一人逢えたら、貴方の人生は良い人生であったと思いなさい。」との教えが身に染みるこの頃であります。



陰山 敏華

無心になれる花の魔性に支えられて、半世紀の歳月がすぎました。限界の灯が点り始めた昨今ですが、自分が感性の花を今しばし追つてみたいのです。



釜鳴 登華

いけばなを習い始めて五十年余りになります。永く習っているという実感もないまま、お家元の花に対われる真摯なお姿に心ひかれ、お稽古がつづいております。いけばなは私に生きる力を与えてくれています。



上月 翠芳

五月十日～十二日で念願の発祥の地西脇において佳生流八十周年花展が催され、昔を知る多くの方々の御来臨を頂きました。

役職プロフィール

平成19年9月現在の役員です。なお誌面の都合により役職者以外の教授者は省略いたしました。



池添 翠節

いる人の心で変化する花によって、自分が生かされ素直になる事ができました。庭の花に癒されながら、美しい花をお美しく、前を向いて過ごしていきたいと思います。



内海 淑翠

先代翠雲先生の門下生としてご指導を受け、引き続き現家元雲華先生のご指導を頂き現在に至っております。「かぎりある身の力ためさ」と私の好きな言葉です。頑張りたいと思います。



扇 紀代華

私自身、入門して早や四分の一世紀を超えた今、未熟な自分に直面しています。八十周年を機に家元先生の教えに従い基本からやり直そうと思っています。



荒田 圭芳

日本の伝統美いけばなを通して、人と人との出会いの輪を大切にし、四季折々の美しい花を愛し、又、生きる喜びに感謝し、より充実した花の心を求めて、精進してまいりたいと思います。



伊藤 真知華

花を育てる、花を生ける、花を観る、そんな心癒される花が大好きです。花は人にやさしさ、力強さ、温かさを感じさせてくれます。「花の心」を大切に、花の道が私の生きがいづくり、仲間づくりになれば幸せです。



宇仁菅 偕苑

初代翠雲先生に初まり現家元雲華先生に、半世紀に亘りご指導いただきましたことを大へん幸せに存じております。現役活動は控えておりますが佳生流を愛し流れをひたすら希う心は衰えておりません。

23

いけばなと関わって四十年余り、花に触れる時その花の心を垣間見る様で、レンナに落ちこんでいても、私に元気を戻してくれる。「花ありて私の人生」といえるかもしれない。お花を生涯の糧として続けていきたい!

子供の頃、家にはいつも庭の花が活けてありました。母が昌鳳院流に入門したのは昭和十五年。私といえばな時代に始まりました。母の恩師の池田昭風先生との出会いから今日に至っています。



土田 雅風

雲華先生、公延先生、崇先生、同門の多くの先生方と同じ時・同じ場所でお花を生けることのできた幸せに感謝致します。今後も嚴しさと喜びを両手に、花と向き合い共に生きていく自分でありたいと思います。



竹村 美智華

子供達も独立し、余暇をたのしむために、市民会館の山本先生にお世話になりました。その後、私宅で宗雲先生にお茶、公延先生にお花を教えて戴き御縁が深くなりました。体の続く限りがんばりたいと思います。



近藤 慶華

長い公務員生活と子育て、その間のやすらぎと落着きを持たせてくれたのが、「いけばな」でした。今は、お花をキレイに長持ちさせることがたのしみです。



木挽 早華

生け花を見ると心が落ちます。佳生流の流花の姿が大好きです。これからも、人生の生きがいとして、華の道を続けたいと思います。



名越 和花

花と共に四十数年、その間、アメリカ・中国に日本の生け花を展示、公開実技を数回、中国では日、中、合同花展を開く事ができました。次々と花型を生み出されるお家元の許、花と共に人生の機微も学んでおります。



鳥飼 弘月

神戸、西脇の八十年記念花展も終りました。その間、お家元のいけられる花を見て、ご高齢を全く感じさせない作品、行動に感心致しました。八十五周年をたのしみに頑張りましょう。



笹倉 朝翠

赤穂支部も発足以来五年経ちました。大石神社・花岳寺教室で、楽しいお稽古を行事の時は、華展をしています。城下町なのに、いけばなを習っている人の少ないのが残念です。佳生流がんばろう！



桋 美華

家元教室に通いはじめて半世紀がすぎました。こんな得意の悪い弟子を長い長い目で見て下さり御指導下さうてお元に感謝しています。

一生、家元の悪弟子でいたいと、今日も又家元教室へまいります。



根角 美江華

古典花を重んじ、いつの時代も生活に密着した新しい花を生みだされるお家元に魅せられお稽古をして参りました。「花の心」を大切に次の世代と世界の人々に日本の芸術いけばなを伝えて行く事が出来ればと思っています。



西口 瞳華

自然との共生から、先人が四季折々の植物を観察、本来の姿や形を、人間の感性でより美しく表現してきた「いけばな」。世界に類のない伝統文化を正しく伝え、その発展を次世代の新感覚に委ねたいと思います。



高井 翠花

懐なつかしい毎日の中で、花の美しさ、やさしさに慰められ、励まされています。大好きな花が身近にある幸せに感謝し、心新たに「いけばな」に向かっていこうと思います。



笹倉 紅花

中学の華道部に「花が好き」で入部、以来五十余年、常に新しいものを創造しご指導下さる雲華家元の許、これからも「花の心」を追求し心豊かな人生への糧にしたいと思っています。



長谷川 紫鈴

「花」は、見ているだけで、気持ちを和ませ、そばにいるだけで、心を癒してくれる！ そんな存在に、あがれる！



橋本 扶左華

昭和三十一年に新日本華道に入門して二年後他府県に居住、佳生流のお花の不思議な魅力に引かれ、加西市に住むようになって再入門、花や人との出会い、ふれあいで心豊かに日々を送れることに感謝しております。



高見 喜華

創始八十周年を迎える喜びをかみしめ、目的を意識して日々を過す事の大切さを痛感致しております。お弟子さん達には、花の心を忘れず感謝して、精進を重ねるよう指導しております。



高橋 恙華

役職プロフィール

忙しい日々の中で、心安らかになれるのは花と向き合っている時間です。花展などで感動する作品に出会うと、とても嬉しくこの道を続けていて良かったと思つております。



幹 千賀華

三月に八十周年「さんちか展」を、五月に「梨雲先生を偲ぶ西脇展」を無事終え、花展毎に初心に戻り勉強の日々です。季節の花に癒され、いけばなを通して出会えた人との縁を大切にしたいと思う今頃です。



松場 美翠

自然の風景が、四季折々に心をいやしてくれる。一期一会の出逢いから、様々に演出、感動の美を学び、奥深い道、花の心を大切に夢を抱き、豊かな心で精進できればとねがっております。



藤本 梅風

西脇の地で、記念すべき八十周年花展に出展させて頂き、大変感謝しています。既に、家元先生の頭の中は八十五周年に向つているとか…。卒寿を越えられても意欲的なお姿を「お手本」として精進してまいります。



藤本 順華

二年前から、植えた苔のない茨が育つ、まっ白で一重の清楚な花がいっぱい咲くのです。その芳香は梅や水仙の比肩、華やかなのに香りの無い花が溢れている昨今。神様からのプレゼントです。



八木 宣華

故郷神戸を離れて、数十年、現在は服部支部長を初め、東京支部の皆様と一緒に、研究会・親睦会を催し、楽しく頑張っています。これからも、心と目で自然の美しさをとらえ、創造して参りたいと思います。



桃井 尚華

家元はじめ諸先生方の励ましのお言葉や、ご指導を賜りながら、今まで歩むことができました。まだ未熟ですが、佳生流のいけばなを一人でも多くの方に学んで頂けるよう精進してまいりたいと思います。



舟曳 佳風

日々、お花にかこまれ、優しさと、きびしさを学び、そして、人々とのふれ合いを大切にしながら、楽しんでいる今日この頃です。



藤原 文華

花がそこににあるだけで癒される思いがする。たった一輪でも。ふと目を上げると、そこには上品に楚楚と花が生けられている。それが今の私が描く生活空間だ。心和む花を生けられる喜びを味い続けられたら、と思う。



本庄 廣華

やつと手に入れたわが家の床の間にはお花を欠かせたくない思いで、お家元の御指導を仰ぐことになりました。床の間の花は妥協のない端正な美しさを要求されるもので、私は仏様の供花と同様大事に思つております。



堀 俊華

インターネットの普及により、田舎に住んでいたながらもクリックつて何でも手に入る時代となりました。しかし、やはり画面からは伝えられない本物の感覚、本物の価値、本物の心を大切にしていくたいと思います。



松田 千草華

新春いけばな展に始まり、師走はお正月を迎える花まで、随分種々様々な花にお付き合いただく一年は瞬く間です。伝統ある佳生流の八十周年の節目に席を開いた事を幸せに存じます。



前田 怜華



あとがき

佳生流を心から愛してやまない皆様方の、たゆまぬ熱意とご厚意に支えられて、この80周年記念誌が成りました。

コメント及び写真収集・年表制作等に2007年6月から4名の編集担当員が会合を重ね、微力ながら専心努力致しました。しかし、不備な点も多々あることを感じております。

その点は次回の編集担当の方々の英断に委ねます。

発行に当たり、適切なアドバイスをいただきました(株)神戸新聞マーケティングセンター・大塚勝己様に厚くお礼申し上げます。

又、拙い行程を見守り、お心こもったご配慮をいただきました家元・西村雲華先生、さまざまご教示をいただきました副家元・西村公延先生、ありがとうございました。

2007年11月1日

編集担当員一同

佳生流

80年のあゆみ

企画・構成 副家元 西村公延

発 行 日:2007年11月1日

編集・発行:佳生流佳生会

〒651-0054

神戸市中央区野崎通3-3-21

Tel (078) 221-6267 fax (078) 221-6269

撮 影:西村雲華・川上義近

印 刷:(株)神戸新聞マーケティングセンター

佳生流

平成19年秋
(2007)